**御正忌（報恩講）ご案内**

謹啓、寒さ厳しいこの頃でございます。御門信徒、有縁の皆様方のお陰により、本年も左記の如く尊い報恩講（親鸞聖人の七百五十六回忌）をお勤めさせて頂くことでございます。

　世界中が目まぐるしく変化し、不安を感じる中にあり、川の流れは止まることなく、常に流れて行くようです。しかし、川底は動かないように、無我の真実の法は変わることなく時代や民族を超えて悩みや苦しみ多き人々の心の拠り所となって来たことを知らされます。

教えられなくても、批判や不満は次々に湧き起こって来ますが、御恩という心は何度も何度も教えられ、聞かせて頂かねば湧いてはこないものです。あたり前としている生活の中で、御恩を感じさせて頂くという御利益を皆様と共に聞かせて頂きたいことであります。皆様の御参詣を心よりお待ち申し上げます。

　　　　　　合掌

　　　　　　　　　　　　　　記

　　　日　時　　平成三十年　二月　三日（土）昼席一時半から

　夜席七時半から

　　　　　　　　　　　　　　　　　四日（日）昼席一時半から

　夜席七時半から

　　　　　　　　　　　　　　　　　五日（月）昼席一時半から

　　　講　師　　伊藤　元　師（小倉市徳蓮寺前住職）

〇三日　昼席後、ぜんざいを御用意致しております

　　　　　　〇バザーはございません。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（引き受け　臼木・小袋地区）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　普光山　長　仁　寺

御門信徒各位